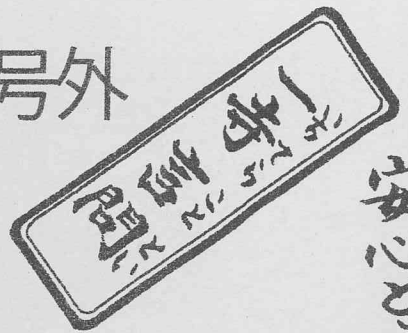


号外 No.



安心とつながるおの町川の手をめぐって

防災まちづくり瓦版

発行／一寺言問を防災のまちにする会

平成29年3月15日

[HP] <http://hitokotakai.com>

いちてらことい
一寺言問／防災まちづくり瓦版

編集／一寺言問を防災のまちにする会・編集局
発行／一寺言問を防災のまちにする会
代表 青木 隆雄
連絡先／墨田区都市整備部都市整備課
〒130-8640 墨田区吾妻橋1-23-20 Tel(5608)6261

二〇一七年二月二十六日(日)、子どもたちと一緒に地域防災を学ぶイベント「イザ!カエルキャラバン」ノース寺島を開催しました。一言会では二〇〇九年以降毎年度一回実施してきており、今回で八回目の開催となりました。

スタッフについては一言会の理事メンバーに加え、東京向島ロータリークラブ、東京東信用金庫、(株)金子製作所、(株)明正、(株)アドバンス、東京土建墨田支部、ボーイスカウト墨田9団、ふじのきさん家、むこうじま高齢者みまもり相談室、向島消防署、墨田区役所、墨田川高校東京工業大学、芝浦工業大学、工学院大学、NPO法人プラスアーツ他多くの皆さまのご協力をいただきました。

当日は晴天に恵まれ、会場の第一寺島小学校体育館と校庭、一寺言問集会所では多くのプログラムが実施されました。子供は約一七〇名、大人は約二三〇名、計四〇〇名の皆様にご来場いただきました。

また当日の開催に向けて子供達もとても楽しんでもらえるイベントにするために、昨年一月からプログラム作りのワークショップを四回行ってきました。前半の二回のワークショップは各団体毎に「こういうプログラムをやってみよう」というアイデア出しから始め、子供達が楽しめるような工夫を考えていきました。後半の二回のワークショップでは、プログラムを確定させ、当日必要な物や役割分担などについて話し合われました。

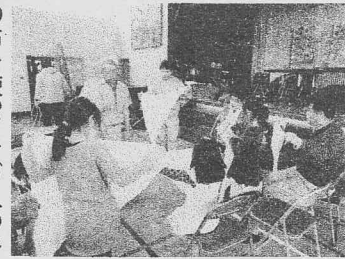


●カエルポイントを集めて各自欲しいおもちゃを一生懸命探していました。



●今年も様々なおもちゃをかけたワークショップが開催され会場は大盛り上がりでした。

子供達と一緒に防災学習ワークショップ イザ!カエルキャラバン! in 寺島2017を開催しました!!



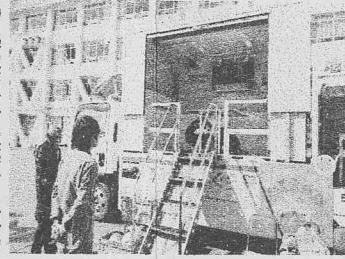
●布を使ってケガ人の手当をやりました。



●高齢者の生活を様々なグッズを用いて体験しました。



●AEDを用いた応急手当のやり方を学びました。



●起震車で震度6強の揺れを体験しました。



●カエルのお面作りも行われました。



●洋服担架でカエル人形を運びました。



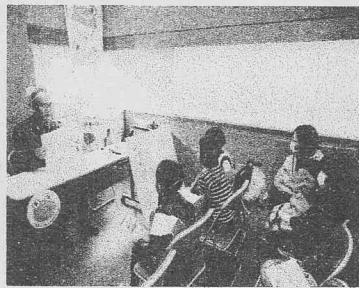
●ビニール袋と新聞紙を使った防災ファッションの提案です。



●足湯で体を温めつつ足湯クイズに挑戦しました。



●アルファ米で作った炊き込みご飯をみんなで試食しました。



●毎年恒例の水書紙しばいの間違いさがしも大盛り況でした。

イザ!カエルキャラバン!

とは阪神・淡路大震災の被災者の方々の体験を元、いざ!という時に必要となる知識や情報を楽しみながら学習できる、体験型の防災訓練プログラムです。このプログラムは、阪神・淡路大震災の教訓を風化させず、次世代に繋げていくために開発され、現在は神戸市内の小学校で防災教育の一環として取入れられています。

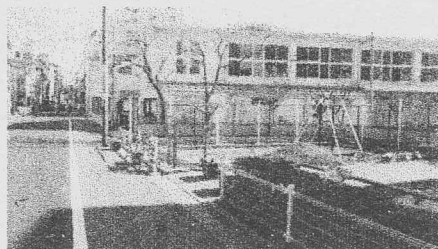


地蔵坂通り大变身

年度末を控え、地蔵坂通りが大变身しています。最近の変化をまとめてご紹介します。

その1

水戸街道から堤通りまで、地蔵坂通りの路側帯がカラー舗装に整備されました。特に一寺小学校が面している東向島一丁目側は路側帯の幅が三十センチ拡張され、より安全で歩きやすい道に変身しました。

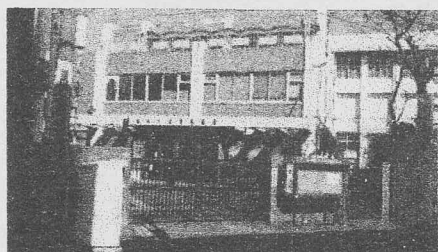


その2

「有吉君の正直さんぽ」で新しいお店が紹介されたように地蔵坂通りの「稲荷寿司 松むら」の跡地が「地蔵坂通り広場」として拡張されました。幼稚園の送迎や地元のイベント等でますます活用されるでしょう。

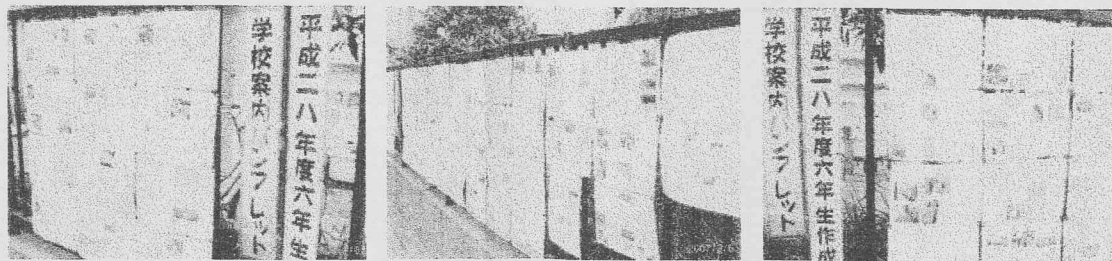
その3

元寺島図書館に、障がい者の授産施設が来年度から着工します。完成後、施設の管理運営は区内でながいこと障がい者の支援を続けている「社会福祉法人墨田さんさん会」が担い、地域の皆さんとも交流の場となるよう、開かれた施設にしていきたいとお話します。



言問小学校、八十周年おめでとう

言問小学校(向島五)は本年度創立八十周年を迎え、これを機に六年生が「学校案内パンフレット」を作り、校舎西側に張り出しました。子ども目線で見えた学内の様子が良く判る、と評判で、新入学生のお母さんはもとより、町の人々も興味深く見入っています。



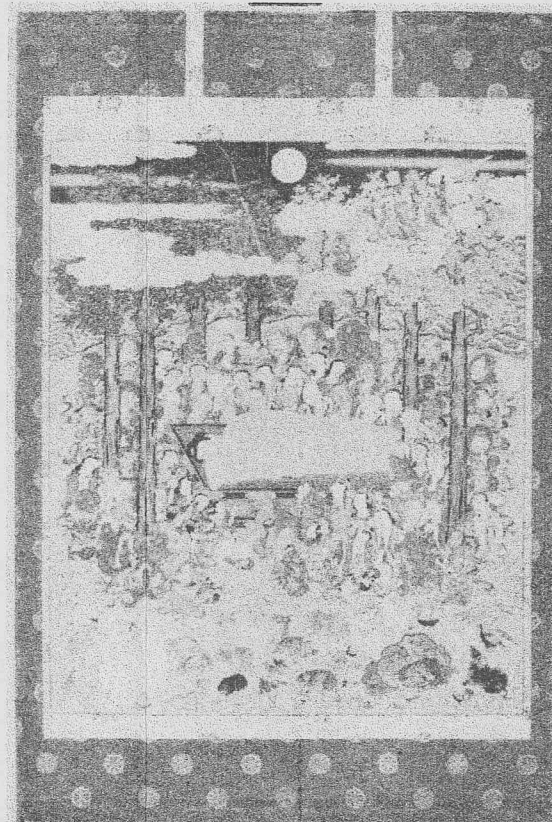
法泉寺「涅槃図」が修復

法泉寺に伝わる、江戸時代に描かれた「涅槃図」が、住友財団「文化財維持修復事業助成」をうけて、国宝などを修復する職人の手により、きれいに修復されました。

この涅槃図は、一八世紀中期に描かれたものと推測され、赤門寺とも言われる墨田の圓徳寺所蔵の涅槃図とともに区内でも古い涅槃図です。

2月15日は、お釈迦様が涅槃に入られた日で、修復された「涅槃図」が本堂で展示され、皆さんに公開されました。涅槃図は、縦三メートル余、横二メートル余の巨大なもので、ご本尊の前に、天井から床まで一杯に掛けられていました。黄色地に金線で描かれた着物で横たわるお釈迦様の周りを鮮やかな衣裳の弟子達が取んでいます。この日は、川村学園女子大学特任教授の萩原延元先生のお話もあり、この涅槃図の価値をより一層知ることができました。

法泉寺のお話しでは、原則二月一五日の「涅槃会」だけの公開とさせていただきます。ご覧になれなかった方、来年が楽しみですね。



交通公園の改修工事

堤通一丁目にある墨田区立堤通公園は、堤通りに面した公園部分はきれいに改修されました。隅田川沿いでは、最新の遊具を備えた交通公園と、新しいテニスコートの改修工事が進んでいて、二九年の夏頃には完成予定です。お楽しみに。

鳩の街商店街の放送施設完備

鳩の街商店街では、新しくスピーカーを取り付け、サテライトスタジオとしてNPO法人雨水市民の会の事務局を活用することになりました。イベント時の商店街全体がさらに楽しくなるとともに、防災にも活用できる放送設備になります。